

令和 8 年度 第 1 回 松山市子ども・子育て会議 全体会 会議録

1. 日時

令和 8 年 8 月 10 日（月）10:00～11:00

2. 場所

松山市青少年センター 3 階 大ホール

3. 当日の出席者等

（1）出席委員（18 名）（五十音順、敬称略）

安藤 有紀, 池田 秀彦, 大原 淑子, 鬼頭 裕美, 小助川^{こすけがわ} 元太, 作道 由佳, 實藤 むつみ,
清水 浩, 竹安 美月, 友川 礼, 中岡 彩, 中川 恵津子, 新野 徹治, 洲上 悟, 松本 佳子,
村岡 則子, 安永 耕造, 渡部 梨乃

（2）事務局

森本こども家庭部部長及び事業関係担当課等長並びに担当者

4. 傍聴の可否

可（傍聴者 0 名）

5. 会議次第

（1）開会

（2）委員及び事務局職員紹介

（3）確認・報告事項

- ①松山市子ども・子育て会議について
- ②松山市こども計画について
- ③第 3 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について
- ④公設児童クラブの運営体制について

（4）協議事項

- ①松山市こども計画に関するアンケート調査について

（5）その他

- ①2026 こどもまんなか松山大賞について
- ②ライフプランニング支援の推進について

（6）連絡事項

（7）閉会

6. 配布資料

- ・次第
- ・配席図
- ・委員名簿
- ・資料 1 松山市子ども・子育て会議について

- ・資料 2 松山市こども計画について
- ・資料 3 第 3 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について
- ・資料 4-1 公設児童クラブの運営体制について
- ・資料 4-2 公設児童クラブの運営体制について
- ・資料 5 松山市こども計画に関するアンケート調査について
- ・参考資料 1 第 2 期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について（令和 6 年度）
- ・参考資料 2 松山市こども計画アンケートチラシ

会議録

1. 開会

・事務局

それでは、定刻となりましたので、ただ今から、令和 8 年度第 1 回松山市子ども・子育て会議を開会させていただきます。

本日の会議につきましては、委員総数 20 名のうち、17 名のご出席をいただいております。過半数に達しておりますので、松山市子ども・子育て会議条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを、ご報告させていただきます。

また、作道委員は所要により、遅れて出席される予定です。

それでは、お手元に配布しております次第に沿って進行をさせていただきます。

まず、開会にあたりまして、松山市こども家庭部長の森本より、ご挨拶を申し上げます。

～森本部長挨拶～

2. 委員及び事務局職員紹介

・事務局

それでは、次第 2 “委員及び事務局職員紹介”でございます。

本来であれば、会長に進行をお願いするところですが、次第 2 の“委員及び事務局職員紹介”までの間、引き続き、進行役を務めさせていただきます。

本会議の委員の皆様の任期は、令和 9 年 3 月 31 日までとなっており、昨年度から引き続きご就任いただいておりますが、各団体の役員の交代等もあり、5 名の委員の方の入れ替えがありましたので、ご紹介します。こちらでお名前を申し上げますので、恐れ入りますが、その場でご起立し、一礼の後にご着席ください。

- ・伊藤委員の後任として松山市小中学校 PTA 連合会 副会長の作道由香様
- ・中島委員の後任として愛媛県立松山工業高等学校 校長の清水浩様
- ・二宮委員の後任として中予私立幼稚園・認定こども園連盟会長の新野徹治様、
- ・宇津見委員の後任として松山市保育会の松本佳子様

なお、

- ・市民公募で新たに就任された城市このみ様

は、ご都合により本日はご欠席となっております。

所属部会については、松山市子ども・子育て会議条例第 8 条第 2 項の規定により、会長が指名することとなっています。

事前に小助川会長から指名を行っていただき、城市委員、作道委員、清水委員は地域子育て部会、新野委員、松本委員は教育・保育部会での審議をご担当していただきますので、ご報告いたします。

次に今年度の“事務局職員”を紹介させていただきます。

“こども家庭部長” 森本 でございます。

“こども家庭部副部長” 水田 でございます。
“こども家庭部こども家庭センター長” 奥村 でございます。
“こども家庭センター統括支援員” 山口 でございます。
そのほか、関係課 一同でございます。
(一同 起立、礼)

以上で紹介を終わります。

3. 確認・報告事項

・事務局

それでは、松山市子ども・子育て会議条例第6条第1項の規定により、ここから先は小助川会長に進行をお願いすることにいたします。

小助川会長、よろしくお願いいたします。

(1) 松山市子ども・子育て会議について【資料1】

・会長

小助川です。よろしくお願いいたします。

それでは、次第(1)報告事項である「松山市子ども・子育て会議について」について、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、「松山市子ども・子育て会議について」について説明～

・会長

松山市子ども・子育て会議についての説明でした。

今年度の審議事項や、審議の流れ、スケジュールなどを示していただきました。主に確認の意味合いの内容でしたが、今の事務局の説明について、何かご質問などがありましたらどうぞ。

なお、ご発言の際にはマイクを使用していただきますようお願いいたします。

～意見・質問なし～

・会長

質問がなければ、松山市子ども・子育て会議については、これで終了します。

(2) 松山市こども計画について【資料2】

・会長

続いて、(2)「松山市こども計画について」、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、「松山市子ども・子育て会議について」について説明～

・会長

この会議での審議を経て、令和7年3月に策定した「松山市こども計画」について、新しい委

員の方もいらっしゃるので、改めて計画の概要や、点検・評価方法、また、各事業を一覧にまとめている別冊の改訂についての報告をしていただきました。

ただいまの事務局の説明について、何かご意見などがありましたらどうぞ。

～意見・質問なし～

・会長

質問がなければ、松山市こども計画については、これで終了します。

(3) 第3期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について【資料3】【参考資料1】

・会長

続いて、(3)「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画について」、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、「第3期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価」について説明～

・会長

今回行う点検・評価は、第3期計画の令和7年度部分で、この全体会では、点検・評価方法についての説明、実際に点検・評価する令和7年度の実績については、この後の部会で示されとのことでした。

また、実際の評価は、部会での報告後、ご自宅等で評価していただき、事務局で取りまとめて、10月頃に報告予定との説明でした。

ただいまの事務局の説明について、何かご意見などがありましたらどうぞ。

～意見・質問なし～

・会長

質問がなければ、第3期松山市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価については、これで終了します。

(4) 公設児童クラブの運営体制について【資料4-1】【資料4-2】

・会長

続いて、(4)「公設児童クラブの運営体制について」、事務局から説明をお願いします。

・事務局

～事務局から、「公設児童クラブの運営体制」について説明～

・会長

前回会議以降、進捗状況や今後の予定の説明で、2つの児童クラブを民間事業者へ委託するこ

とや、市での事務一元化への準備を進めているとのことでした。

ただいまの事務局の説明について、何かご意見などがありましたらどうぞ。

- ・委員 A

質問の前に 1 点お伝えしたいことがあります。松山市こども計画について、愛媛県下でも松山市こども計画を策定していない市町もあるかと思いますが、松山市はスケジュールも厳しい中、様々な工夫を行い、松山市こども計画を策定したことは誇りに思っていることかと思えます。こども・若者・子育て世帯へのアンケートや本会議の委員の意見などを丁寧に反映し、松山市こども計画を作成していただいたことに感謝しています。ありがとうございました。

公設児童クラブの運営体制についての質問ですが、日本版 DBS において、児童クラブは義務ではなく任意の対象となっています。これまでのやりとりのなかで、地域での人材確保が難しい場合は、他のエリアから調達することも可能だというサウンディング調査の結果もあったとのことでしたが、他のエリアから人材を確保するということは先進的な事例や情報がはいつてくるという意味でメリットはもちろんあるかと思いますが、これまでの報道を見る限り、性犯罪を犯した人が事務所を転々として再犯を犯しているのも事実だと思います。そのあたりの対策について、教えてください。

- ・事務局

日本版 DBS において、児童クラブは義務ではなく任意の対象になっていますので、今後国から申請の手続き等が示されましたら、民間事業者だけに限らず、現在運営を行っている運営委員会にも、支援策を含めて対応していきます。

- ・会長

ほかに質問がなければ、公設児童クラブの運営体制については、これで終了します。

4. 報告事項

(1) 松山市こども計画に関するアンケート調査について【資料 5】【参考資料 2】

- ・会長

それでは、次第 4 協議事項の(1)「松山市こども計画に関するアンケート調査について」です。事務局から説明をお願いします。

- ・事務局

～事務局から、「松山市こども計画に関するアンケート調査について」について説明～

- ・会長

今年度のアンケートも、こども計画の進捗管理を目的としたもので、令和 7 年度と同様の内容にするとのことでした。事務局からの説明であったように、設問案に対するご意見がある場合は、所定の日までに、事務局へ意見書を提出してください。また、実際のアンケートは、9 月から 10 月に行う予定で、皆さんからの意見も踏まえて、アンケート実施前に、設問の報告を行うとのことでした。

ただいまの事務局の説明について、何かご意見などがありましたらどうぞ。

・委員 B

アンケートチラシについて、現時点では案をお示しいただいているかと思います。チラシの表面に、「今後の取り組みのために、みなさんのご意見をお聞かせください」との記載がありますが、こどもたちをメインに回答していただきたいものであれば「今後の取り組み」と記載しているだけでは伝わりづらいと思います。例えば、その文言のまわりに、吹き出しで「体育館の冷房をつけしてほしい」などと記載して、気軽に要望を言ってもいいんだと思ってもらえるようなチラシ作りが重要かと思います。裏面に関しましても、大事な意見をピックアップしていただいていると思いますが、それに対する回答は、ふわっとするのではなく、言い切ってほしいです。こどもたちに、意見を反映して、松山市ではこのように対応したよとチラシで伝えていただきたいと思います。

・事務局

ご意見を参考にさせていただきます。

・委員 C

資料 5 の 2 ページには、令和 7 年度実施状況が記載されており、特に 15～17 歳、18 歳以上の若者にアンケートの周知がうまく届かなかったことが分かります。

3 ページの周知方法の内容欄に「等」との記載があることから、幅広くアンケートにご協力いただけるようご尽力いただいているということは前提にあると思います。もし、青少年センターやハローワーク、フリースクールなどが、「等」のなかに含まれていないのであれば、ご協力いただけるようお願いしてはどうかと思います。また、こども・若者が集まる商業施設やファストフード店やコンビニエンスストアなどのレジなどに二次元コードを設置していただき、こども・若者の導線に合わせた周知を行っていただければと思います。

・事務局

こども・若者の回答数をあげるために、いただいたご意見を参考に、企業などへお声がけし、協力の依頼をお願いできればと考えています。また、先ほどご説明した通り、今年度は、委員からのご提案で、小・中・高校の校長会で、アンケートについての説明と周知の依頼をする機会をいただきますので、より多くの児童・生徒から回答をいただけるようご協力をお願いしたいと考えています。

・委員 D

資料 5 の 2 ページの令和 7 年度実施状況について、人口に対する回答数が非常に少ない結果となっています。これらの回答が松山市こども計画の成果指標の結果として、正確な数値であるのか非常に気になっている部分です。

・事務局

ご指摘のとおり、このアンケート調査をもって、市民全体の状況として捉えるものではなく、計画の評価をする際には、事業の実績とを合わせて総合的に行うものとしています。

今期の計画の成果指標、調査方法については、経年変化を把握するため、変更する予定はありませんが、計画改定時に指標についての議論も行う予定のため、その際には調査方法や内容について改めて協議したいと考えています。

- ・委員 E

15～17 歳や、18 歳以上の若い方々の回答数が少ないことには懸念があります。それぞれの年代で母数が違うということを前提に、集計や分析を進める必要があります。また、アンケート結果を軽視することなく、得られた回答を一つひとつ大事に使いながら、市民にフィードバックしていくことが必要だと思います。

- ・会長

他に質問がなければ、松山市こども計画に関するアンケート調査については、これで終了します。

- ・会長

以上で、本日の議事はすべて終了いたしました。これまでの議題を通して、改めて質問等はありませんか。

～意見・質問なし～

- ・会長

それでは、以上をもちまして、本日の審議を終了します。本日は第 1 回の会議ということで事務局からも説明がありましたが、当会議は、松山市こども計画や松山市子ども・子育て支援事業計画について審議する場となっています。各委員の皆様からのご意見やご提案を参考に、市民のためになるよう引き続きよろしくお願いいたします。事務局にお返しします。

5. その他

- ・事務局

ありがとうございました。事務局から、連絡事項として、3 点お知らせがあります。

まず 1 点目、こどもまんなか松山大賞についてです。チラシをご覧ください。

市内の企業や団体が行っている、こどもや若者、子育て家庭を支援する活動を表彰し、社会全体でこどもまんなか社会の実現に向けた気運を高めるため、令和 6 年 8 月に「こどもまんなか松山大賞」を創設しました。

現在、今年度の「こどもまんなか松山大賞」となる活動を募集中ですので、委員の皆様にも、支援活動を行っているお知り合いの企業や団体の方がいらっしゃいましたら、広くご紹介いただけますと幸いです。

2 点目は、ライフプランニング支援の推進についてです。

本市ではこども計画の基本方針の一つとして掲げている、若者が自ら希望するライフプランの実現を後押しするための支援を実施しており、昨年度は、高校生から大学生を対象としたライフデザインのワークショップを開催しました。

今年度は松山市の子育て支援などこども施策の紹介を兼ねたライフデザインセミナーを検討しており、詳細が決まりましたら、委員の皆様にも開催に向けた周知にご協力いただきたく、後日改めてご依頼する予定です。

3 点目、次の開催については、10 月頃を予定しておりますのでご承知おきください。

- ・事務局

冒頭、作道委員は遅れての参加予定とお伝えし、本日の出席は 17 名とご報告させていただき

ましたが、出席されましたので、出席者数を 18 名に訂正させていただきます。

なお、この後、約 10 分間の休憩の後、この場所にて「地域子育て部会」、小ホールにて「教育・保育部会」を開催いたします。

教育・保育部会の委員の皆さまは、移動をお願いします。地域子育て部会の委員の皆さま方は、会場のレイアウト変更を行うため、大変申し訳ございませんが、後方に椅子をご用意しておりますので、お待ちいただければと思います。準備が整いましたら、改めてご案内いたしますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日は、ご出席いただき、誠にありがとうございました。

(了)